

脳・神経・精神科

精神科

TEL 022-717-7737(外来)

完全予約制



科長
富田 博秋 教授



地域の先生方へ

大学病院での高度な検査や診療技術が必要な場合や、経過の中で診療方針の見直しが必要になった場合等に外来診療や入院目的でのご紹介をお受けしています。基本的に、地域にかかりつけの精神科医療機関を持って頂くことを原則としています。



診療科WEB



外来担当医表

診療内容

大学病院の精神科という立場を活かして、地域の関連する医療機関との緊密な連携のもと、高い専門性を要する診療ニーズに応えるべく、外来・入院での診療に取り組んでいます。精神疾患は検査等により客観的に病態を捉えることが難しく、適切な診断や診療方針を定めることは容易でないこともある一方、検査等により把握可能な身体要因が潜むことも稀ではありません。また、慢性の経過をたどる精神疾患の診療の過程で、症状が繰り返す、症状の顕れ方が変わる、治療に反応しなくなるなどのことが生じることも少なくありません。

大学病院では、高度な精査や診療技術、最先端の情報、多数の医師・多職種による検討の体制を活かして、身体的側面から心理社会的な側面に至るまでの総合的なアセスメントに基づいて鑑別診断や診療方針の組み立てを行います。お一人お一人にあわせて、心理教育、生活指導、精神療法、合理的薬物療法を含む身体治療をバランスよく行い、通常の治療への反応が低く難治化する場合、適宜、治療抵抗性の精神疾患に有効とされる治療法の導入を検討、実施します。認知症、摂食障害、睡眠障害、てんかん等は、院内の関連診療科と連携することで病院として専門性の高い診療体制を作っています。

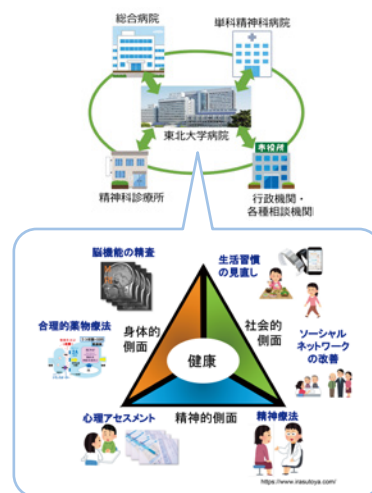
得意分野

専門外来として、周産期専門外来、児童思春期専門外来(こども外来)、早期精神病外来(SAFEクリニック)を予約制で設置し、学内外の関係者と連携して、早期介入や包括的な医療を実施しており、さらに多職種からなる精神科リエゾンチームを有しています。双極性障害、うつ病、統合失調症、早期精神病、発達障害、睡眠障害、周産期メンタルヘルス、腫瘍性疾患罹患患者のメンタルヘルス等については、先進的な診療を提供するだけでなく、今後の医療技術の発展に繋がる臨床研究も同時に行なっています。

主な対象疾患

精神病性障害群(統合失調症など)
双極性障害(躁うつ病)および関連障害群
抑うつ障害群(うつ病など)
不安症群(社交不安症、パニック症、全般不安症など)
強迫症および関連症群
心的外傷およびストレス因関連障害群
身体症状症および関連症群
睡眠-覚醒障害群
物質関連障害および嗜癮性障害群

地域連携と先進医療体制に基づく
心身の健康に向けたバランスのとれた包括的精神医療



大学病院精神科診療イメージ図